

Code Orange

第53号

熊本地震に当院DMAT隊派遣

2016年4月16日～4月19日

大阪府立急性期・総合医療センターは4月14日21時26分以降断続的に発生している熊本地震に対するDMAT派遣要請を受け、医師2名、看護師1名、業務調整員2名を現地に派遣しました。4月16日早朝緊急消防援助隊大阪府隊に帯同する形で大阪DMAT8隊と共に熊本に向かいました。4月17日未明に無事熊本日赤病院に到着しました。

今回我々が担当したのは避難所の支援でした。至るところで自治体や消防、自衛隊などが懸命の支援を行っており、被災者のために全力を尽くしているところを目にすることができました。その中で、我々は医療班だからこそできる介入を求めて活動しました。また、保健所と協力してライフラインの破綻している避難所の衛生指導も行いました。

一方、道路が断絶している地域など、地域の自治体ですら把握が難しい避難所もあるなど、様々な問題点も見えてきました。

急性期を過ぎ、徐々に医療も地域に復興していかなければならない中、我々の行ってきた活動を後進の医療班に引き継げるよう努力したつもりです。我々の活動が少しでも被災地の役に立てていれればと思います。熊本県で活動しておりました府立DMATは全員怪我もなく無事活動を終えて帰阪しました。ご支援いただいた皆様、本当にありがとうございました。最後になりましたが、被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。



DMAT後方支援活動

2016年4月16日～4月19日

熊本地震に大阪DMAT隊派遣が決まり、当センター内のODCCで後方支援を開始しました。後方支援とは、DMATの活動に関わる通信、移動手段、医薬品、生活手段等を確保することで、DMAT活動に必要な連絡、調整、情報収集の業務等も含まれます。現地で活動するDMAT隊員がいかに円滑に活動できるかが支援の肝になります。いわば縁の下の力持ちです。

現地には5名の当センターDMAT隊員ならびに大阪府下17医療施設から80名余が活動していました。病院に残った24名ものDMAT隊員も、昼夜を問わず後方支援を行っていました。現地のDMAT隊員の要望に迅速に応えることができたのではないかと自負しております。

DMAT活動のために様々な調整及びご協力いただいた関係者の方々、皆様のおかげで活動が円滑に行えました。ありがとうございました。

